

第39期決算公告

2022年6月24日

東京都港区西新橋一丁目3番1号
三菱HCキャピタル債権回収株式会社
代表取締役社長 白石 和弘

貸借対照表

(2022年3月31日現在)

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	2,145,917	流動負債	473,244
現 金 及 び 預 金	232,896	未 払 金	50,841
売 掛 金	271,279	未 払 費 用	46,782
買 取 債 権	33,864	役 員 賞 与 引 当 金	7,900
代 位 弁 済 債 権	476	賞 与 引 当 金	70,536
未 収 入 金	16,837	未 払 法 人 税 等	51,271
関 係 会 社 預 け 金	1,585,595	未 払 消 費 税 等	15,325
前 払 費 用	7,279	預 り 金	228,342
そ の 他 の 流 動 資 産	3,600	仮 受 金	2,244
貸 倒 引 当 金	△ 5,912		
		固定負債	71,153
		退 職 給 付 引 当 金	49,871
		資 産 除 去 債 務	21,281
固定資産	297,606	負債合計	544,397
有形固定資産	51,495	純 資 産 の 部	
建 物	11,723	株主資本	1,899,126
器 具 備 品	39,771	資 本 金	500,000
無形固定資産	34,708		
電 話 加 入 権	0	利益剰余金	1,399,126
ソ フ ト ウ ェ ア	34,708	利益準備金	125,000
		その他利益剰余金	1,274,126
投資その他の資産	211,402	別 途 積 立 金	1,000,000
長 期 前 払 費 用	74,897	繰 越 利 益 剰 余 金	274,126
差 入 敷 金 保 証 金	53,804		
繰 延 税 金 資 産	32,636		
そ の 他 の 投 資 等	50,064		
		純資産合計	1,899,126
資産合計	2,443,524	負債・純資産合計	2,443,524

(記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。)

第39期(2021年度)損益計算書

(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

科 目	金 額
売 上 高	1,706,805
受 託 業 務 収 益	1,619,183
買 取 債 権 回 収 収 益	87,622
売 上 原 価	—
売 上 総 利 益	1,706,805
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,382,931
営 業 利 益	323,874
営 業 外 収 益	2,177
受 取 利 息 配 当 金	1,178
そ の 他 の 雑 収 入	998
営 業 外 費 用	3,569
そ の 他 の 雑 損 失	3,569
経 常 利 益	322,482
特 別 利 益	—
特 別 損 失	—
税 引 前 当 期 純 利 益	322,482
法人税、住民税および事業税	88,705
法 人 税 等 調 整 額	13,934
当 期 純 利 益	219,841

(記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。)

第39期(2021年度)個別注記表

【重要な会計方針に係る事項】

1. 有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却の方法は、定額法によっております。
2. リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンスリース取引については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。
3. 無形固定資産の減価償却の方法は定額法によっております。なお、ソフトウェア(自社利用)については、社内における見込利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。
4. 貸倒引当金は営業債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率等に基づき、貸倒懸念債権等については、個々の債権の回収可能性等を考慮して計上しております。
5. 退職給付引当金は、従業員への退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。
退職給付債務算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。
数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間による定額法によっており、翌事業年度から費用処理することとしております。
過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間による定額法により費用処理しております。
6. 役員賞与引当金は、役員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。
7. 賞与引当金は、従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。
8. 資産除去債務は、将来の事務所退去に伴う原状回復義務に基づき生じる原状回復費用に備えるため、原状回復費用を合理的に見積り計上したものです。
9. 重要な収益及び費用の計上基準
当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点(収益を認識する通常の時点)は以下の通りであります。
(1)受託業務収益は、回収時点並びに受託業務完了時点によって収益を認識しております。
(2)買取債権回収収益は、正常債権については、買取価格の債権額面に占める割合を算出し、債権回収額に当該割合を乗じた金額については簿価を取崩し、残額を収益とする方法によっております。また、正常債権以外の債権については、買取簿価を超えた回収を行った場合その額を収益とする方法によっております。
(3)その他の営業収益は、役務提供完了時点によって収益を認識しております。
10. その他計算書類作成上のための重要な事項
(1)連結納税制度の適用取り止め
当期より、連結納税制度の適用を取り止めました。

【貸借対照表等に関する注記】

1.有形固定資産の減価償却累計額	101,371千円
2.関係会社に対する金銭債権債務	
(1)短期金銭債権	
売掛金	145千円
関係会社預け金	1,585,595千円
(2)短期金銭債務	
未払金	38,296千円

【税効果会計に関する注記】

1.繰延税金資産の発生の主な原因

繰延税金資産	
貸倒引当金	1,407 千円
賞与引当金	21,576 千円
退職給付引当金	15,255 千円
その他	28,070 千円
繰延税金資産小計	66,310 千円
評価性引当金	△ 12,545 千円
繰延税金資産合計	53,765 千円
繰延税金負債	
資産除去債務資産	1,613 千円
前払年金費用	19,515 千円
繰延税金負債合計	21,129 千円
繰延税金資産純額	32,636 千円

【関連当事者との取引に関する注記】

属性	会社等の名称	議決権等の所有(被所有)割合	関係内容		取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
			役員の兼務等	事業上の関係				
親会社	三菱HCキャピタル株式会社	100%	兼任	債権管理回収業務等の受託	債権管理回収業務等 *1	4,551	売掛金	145
					CMS預け金増加額 *2	88,671	関係会社預け金 *2	1,585,595
					受取利息配当金	1,178		

*1 債権回収業務等の受託手数料は他の取引業者と同様の基本契約、市場価格によっております。

*2 余剰資金の預け入れは、グループ内CMS制度に基づき、制定したルールの下で実施しております。

【一株当たり情報に関する注記】

一株当たり情報

一株当たり純資産額	189,912円63銭
一株当たり当期純利益額	21,984円18銭

【重要な後発事象に関する注記】

重要な後発事象

該当ありません。